

病院で処方された薬や、薬局やドラッグストアなどで購入した薬をどのように保管していますか？

薬は光や温度、湿度によって効果が落ちる場合があります。保管方法に特に指示がない場合は、高温、多湿、直射日光を避けて、室温（1～30度）で保管しましょう。

錠剤やカプセル剤を冷蔵庫で保管されている方もいますが、出し入れの際の温度差で湿気を帯びてしまうことがあります。冷所保存の指示がない限り、室温保管で問題ありません。

一方、シロップや目薬、座薬、未開封のインスリンなどで「冷所保存」の指示があります。この場合は冷蔵庫で保

ちよつと得する
クソリの知識

<118>

光、温度、湿度 効果に影響

管していただきたいのですが、冷凍は絶対に避けてください。冷蔵庫の扉など、凍結しない場所で保管してください。

患者さんから、「昔もらった薬を使ってもいいですか」と聞かれることがあります。薬にも使用期限がありますので、古くなった薬は使用しないでください。加えて、病院で処方された薬の場合、その時々症状に合わせて治療目的で処方されています。現在の症状が昔の症状と似ていたとしても、別の疾患の可能性もあります。受診し、改めて処方してもらった方が安心です。ま

た症状が似ているからといって、他人に譲り渡すことも絶対にやめてください。

薬局、ドラッグストアなどで購入する薬にも使用期限があります。箱に記載されていますが、これは未開封の場合の期限です。開封後は早めに使用してください。

最後に、子どもは何でも口に入れたがります。子どもの手の届く所に薬を保管するのはやめましょう。

（牧野 和也・県病院薬剤師会理事）

<毎月第4火曜日に掲載>